



オフィスイリアを見下ろす



# ROKI Global Innovation Center -ROGIC-



南側外観

## 選評

この建物は、静岡県浜松市の天竜川沿いに位置する自動車関連のフィルトレーション（濾過）技術を主な事業としている会社の研究所である。「建築を研究者やエンジニアの感性を刺激し想像力を促す場にする」という研究所に対する理念が、建築主、設計者（意匠、構造、設備の設計チーム）、施工者の総力を結集することによって、自然を活用したエコロジカルで快適な建築空間の創造へとそのまま置き換えられており、現代における新しい研究所施設のひとつの在りようを示すものとなっている。

この建物の実現において終始一貫する設計者の基本姿勢は、建物の周囲に広がる山々や天竜川という豊かな自然環境に恵まれた立地を最大限に有効活用すべく、建物の形態や配置を周囲の自然に連続して溶け込ませ、光や風を取り込んだエコロジカルな建築とすべく、すべて自然と謙虚に向き合いつつ、比較的若い設計チーム全員が徹底

したプロ意識と抜群のネットワークの下に一致団結して事にあたっている点にある。中でもこの建築において最も象徴的なワンルーム大空間を実現するために、設計者が持ち寄った専門的な提案と総合的な解答は特筆に値する。

それを具体的に述べれば、ひとつはひな壇を構成するスリムな大スパン床組構造である。そこには居住性のために床制振装置やプレストレスト造が採用されているばかりではなく、逆梁によってできる床下空間にさまざまな設備機能が盛り込まれており、意匠・構造・設備の融合が図られている。

もうひとつはハイブリッドトラス（上弦材H形鋼、下弦材CT鋼+木材）による二方向格子の大屋根構造である。ここでは上下弦材の間、すなわち屋根仕上げと天井仕上げの間を空気層、拡散光層とするダブルスキン屋根とし、さらに下弦材の木造格子と自社フィルターによる全面光天井は、ワンルー

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。  
この賞は、1960年にはじまり2015年で56回を数えます。

### < 2015年 第56回 BCS賞受賞作品 >

あべのハルカス 大阪木材仲買会館 北九州市立戸畑図書館 サイエンスヒルズこまつ JPTワー  
静岡市清水文化会館 マリナート 資生堂銀座ビル Junko Fukutake Hall 鈴木大拙館 ダイビル本館・中之島 四季の丘 はあと保育園  
明治大学創立130周年記念和泉図書館 ROKI Global Innovation Center -ROGIC- [特別賞] 上州富岡駅

## 建築主 “創造・創出・革新”をテーマとした より 技術研鑽の場を構築

弊社は1958年に創業し静岡県浜松市に本社を置く、フィルトレーション技術をコアとしたメーカーでございます。現在自動車用機能部品を中心に、11カ国20拠点体制で開発・生産・販売等の事業を展開しております。この度のROKI Global Innovation Center (通称ROGIC)は、弊社技術の総本山として“創造・創出・革新の場”と位置付け、建築いたしました。

その背景といたしましては、私どもが現在主力としている自動車業界を取り巻く環境は近年劇的に変化してきており、特に技術領域はドラ

スティックかつスピードをもって進化の道を進んでおります。この環境下に於いて、更なる成長発展を遂げる為には、従来とは別次元の発想をもって技術の研鑽に励まなければならないと痛感しておりました。

設計・施工の皆様をはじめ当建築に携わられた多くの関係者の皆様の徹底したプロ意識と卓越した技術、抜群のチームワークで取り組んでいただいた結果として、豊かな自然空間に溶け込む超一級の創造空間を具現化できたことについて心より感謝を申し上げます。



株式会社ROKI  
代表取締役社長  
**島田貴也**  
Takaya Shimada

## 設計者 より

### 人間の感性と創造性について



株式会社小堀哲夫  
建築設計事務所  
代表取締役  
**小堀哲夫**  
Tetsuo Kobori

古くから、自然の中でどこに居場所を見つけ、どう自然と向き合うかという回答として建築がはじまり、外部とゆるやかな折り合いをつけながら、美しく豊かな環境をつくりこんできた我々日本人の感性は、世界に誇れるひとつの独自性です。私たちは半外部空間という環境によって、自然変化の気持ちよさを体感する空間を作り込むことで、研究員が感性を取り戻し、爆発的な創造性を発揮できる場を目指しました。

光と風を透過するフィルトレーションルーフに覆われた、無柱のオフィス空間は、階高を抑えることにより親密な距離感と一体感を持たせています。オフィスから見上げる屋根の木材と障子のようなフィルター天井は、職人が1本1本削りだし、ひねりと曲げが加えられ、工芸品のような美しい木格子と光が広がる天井となり、作り手の魂がまた人々に感動を与える場となっています。

## 施工者 技術と創意工夫を凝らし完成した より 唯一無二の「3次元大空間」

ROGICは建築主、設計者、施工者全員の拘りが詰まった建築です。それぞれの「拘り」を関係者全員が共有するために、多くの模型と共に、色見本やモックアップを幾つも作成し、「具現化」する為の「意識合わせ」を何度も行いました。建築主・設計者との打ち合わせはいつも終電に及び、時には白熱した議論となることもありました。

なかでも大変施工難易度が高かった真っ白な

ROKIフィルターでできた膜天井、それを支えている高精度のハイブリッド鉄骨トラス屋根は、建築主・設計者・施工者の「想い」を1つに結集させ、多くの困難を乗り越え完成しました。1つ目の屋根鉄骨ユニットが思うように取り付けず、長時間クレーンで吊り上げたまま、足場上から大声で指示を出していたことも、圧巻の威厳を放つ3次元大空間が完成した今となっては、とても懐かしい良い思い出です。



大成建設株式会社  
名古屋支店  
作業所長  
**近藤浩史**  
Koji Kondo



東側外観



更新を考慮したラボエリア

ム大空間に浮遊感と軽快感を創出している。ここでも意匠・構造・設備の見事な融合が図られている。この大屋根は水勾配などから三次元形状とされ振れが生ずる部分もあり、意匠的な木の天井格子の見え掛かりからも難度の高い施工が要求されたと思われるが、その難題に答えるばかりか出来栄も目を見張るほど細部まで綺麗に仕上げられている。他にも設計の意図を実現すべく注がれた施工者の熱意と努力が随所に見られ、設計

者として施工者の見事な連携が見られる。その他、エコや省エネルギーなどの環境問題をはじめ、実に多様な課題に果敢に取り組んでおり、バランスの取れた建築の総合力は群を抜いている。この建物は、建築主、設計者、施工者三者の理想的な連携により実現されており、BCS賞に最もふさわしい作品として高く評価したい。

#### 【選考委員】

佐々木睦朗・宮崎浩・小林照雄

#### 計画概要

建築主：(株)ROKI

設計者：(株)小堀哲夫建築設計事務所

施工者：大成建設(株)

所在地：静岡県浜松市天竜区二俣町二俣2396  
竣工日：平成25年9月26日

敷地面積：67,510.55㎡  
建築面積：3,998.96㎡  
延床面積：8,319.84㎡

階数：地上4階  
構造：鉄筋コンクリート造  
一部鉄骨鉄筋コンクリート造